

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		<ul style="list-style-type: none"> ・人数によって、部屋を分けるなど工夫している ・職員一同話しながら環境設定を行い、また工夫しつつ対応している ・人数によっては広さが適していない時もあるが、グループに分けるなど工夫している ・環境設定をし、スペースを確保している ・利用人数で2部屋を使い分けている ・スペース配慮しながら療育を行っている 	
	②	職員の配置数は適切である	6			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所への設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		<ul style="list-style-type: none"> ・共有事項等、日々の朝礼、終礼で行っている ・高い棚にのぼらないよう利用者の別の場所や高さの工夫（視覚表示等）を行っている ・机の角などで怪我をしないようカバーしている ・段差がある所も危なくないように工夫している ・タイムスケジュールの表示 	
	④	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子どもの活動に合わせた空間となっている。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・室内だけでなく、送迎時も掃除をし、環境設定している ・必ず掃除を行っている ・日々整理整頓を心掛け、朝10分間清掃など取り組んでいる ・環境を整えたり、朝の10分間清掃を行うことで利用者の活動に合わせて空間をとることが出来ている 	
業務 改善	⑤	業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼、終礼はもちろん昼もランチミーティングを行い、職員全員で周知・共有している ・朝礼、終礼や必要に応じてお昼も周知事項等を共有している ・朝礼で取り組んでいる 	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者用のアンケートを行っている 	
	⑦	事業所向け自己評価表および、保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日ホームページに公開している ・事業所ごとに会社のホームページに公開している 	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6			
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、研修の機会を設けている ・月に一回、全事業所にて会議・研修を行っている ・月に一回、研修している ・事業所が全て集まる会議で研修を行っている ・月一回の研修や定期的なミーティングを行い、資質向上を目指している ・月一回の推進会議や研修を行っている 	
適切 な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のニーズを聞き取り作成している 	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント表を保護者の方に記入してもらっている ・こぼと教材を使っている 	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されている。	6			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画に沿った支援、HUGの入力も心掛けている 	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で意見を出し合い立てられると思う ・各々で案を出し合って取り組んでいる 	
	⑮	活動プログラムを固定化しないよう工夫している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所で話し合い、案を出し合っている 	

支援の提供	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6		・保護者や職員の意見をもとに作成している	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		・朝礼で打ち合わせを行っている ・朝礼時、活動案をもとに各々の役割を周知し、共有している ・朝礼で確認している ・朝礼を行い、共有事項を伝えるようにしている	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	6		・終礼時や必要に応じてお昼に周知し、共有している ・朝礼で様子を振り返りと改善点を出し合っている ・緊急の時はその都度1日の終礼の際に共有、振り返りしている ・気付いた点、ヒヤリハットしたことを伝えることで視野が広く持つて動くことを心掛けている	
	⑲	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		・1人ひとり記録を書き、職員同士で話し合っている ・利用者への声掛けや対応について、職員間で共有し、改善へ繋げられるよう心掛けている ・心掛ける仕方や支援の工夫を一人一人に合った内容で対応するように心掛けている	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6		・利用者の様子については三カ月、または六カ月などモニタリングで振り返っている ・6ヶ月に一回（又は三カ月に一回）モニタリングを行っている ・モニタリングの作成に伴い、保護者との面談を行っている ・モニタリング更新にあたっての面談を職員も対応するようにしている	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6			
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連絡体制を整えている。	6		・関係機関と連携をとっている	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関などと連絡体制を整えている	6			
	㉕	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		・情報共有を行っている ・移動支援シートや情報提供書を作成し、相互理解を図っている	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		・足を運び連携をとっている ・移動支援シートや情報提供書を作成し、相互理解を図っている	
	㉗	他の児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		・外部講師の研修を行っている	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障がいのない子どもと活動する機会がある	5		・公園へ行く活動の時に関わると時がある ・散歩や公園で交流した	
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4			
	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		・連絡帳や送迎、電話にてお母様と直接伝えている。2024年1月よりHUGでも対応している ・連絡帳のやり取りや保護者送迎、ご自宅送迎の時にお伝えしている。また場合によっては電話でお伝えしている ・保護者送迎の方へは直接お会いして報告し、面送迎の方へは連絡帳(HUG)でのやり取りを行っている	
㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6				
支援の提供	㉒	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			
	㉓	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び、支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6			

保護者への説明責任等	③④	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		<ul style="list-style-type: none"> ・園の先生とも報告があり、共に面談なども行っている ・連絡帳や送迎時、電話など対応している ・面談を行う機会を設けている 	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5		<ul style="list-style-type: none"> ・COCOタイムを名付け会を開いている ・COCOタイムを設けて交流を行っている 	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に面談等行っている 	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月発信している ・毎月の予約表と一緒にイベント案内や活動内容を配布している 	
	③⑧	個人情報に十分注意している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・場所の配置を共有している（鍵やシュレッターなど） ・個人情報関連のものは全て鍵がついたロッカーへ保管 ・シュレッターも使用している 	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士で連携をとり、配慮している 	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナも明けたので今後 	
非常時の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所で見られるファイルが職員で共有している ・各々のマニュアルはいつでも見れる所に置いている ・利用者と一緒に町探検をし、マップを作成している 	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っている	6			
	④③	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6			
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日各事業所と共有している ・毎日ヒヤリハットを作成し、他事業所とも共有している ・全事業所で共有している ・ヒヤリハット記入後、全事業所にFAXし、全員で目を通すようにしている ・毎日ヒヤリハットしたことを用紙に書き、全体で共有している 	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		<ul style="list-style-type: none"> ・年に数回行っている 	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時の際、了承を得ている ・個人支援計画書に記載し、保護者から同意を得ている 	